

守る、育む、繋がる

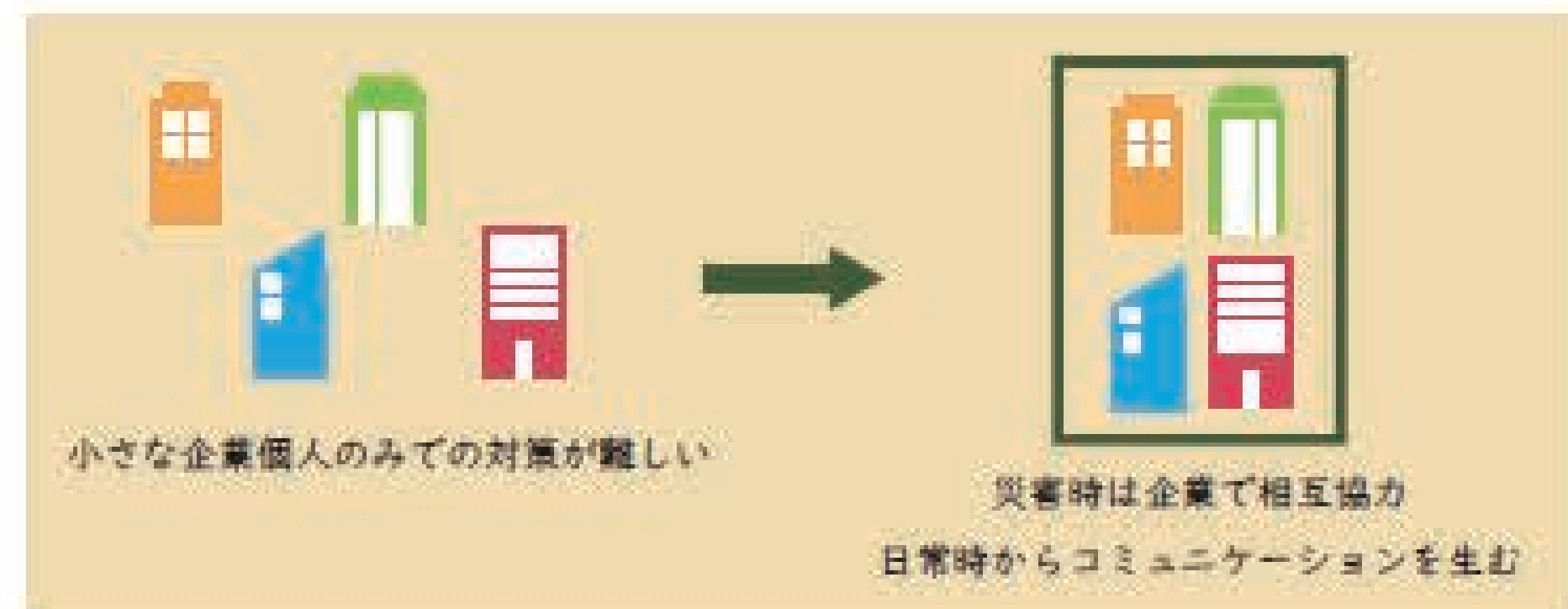
－環境に配慮された災害基地ともなるコミュニティ拠点－



1. 背景・課題

■ 小さな企業の災害への備え

日本は世界有数の地震多発地帯であり、地震をはじめ天災による災害も多い。災害には事前の備えが重要であるが、個人経営等の小さな企業の備えは十分とは言えず、その理由は個別に対策することの難しさが挙げられる。そこで小さな企業を1つの敷地に集め、そこにコミュニティ拠点を設置することにより、日常時からコミュニティを創造し、災害時にも周囲で助け合える建築・場所を提案する。

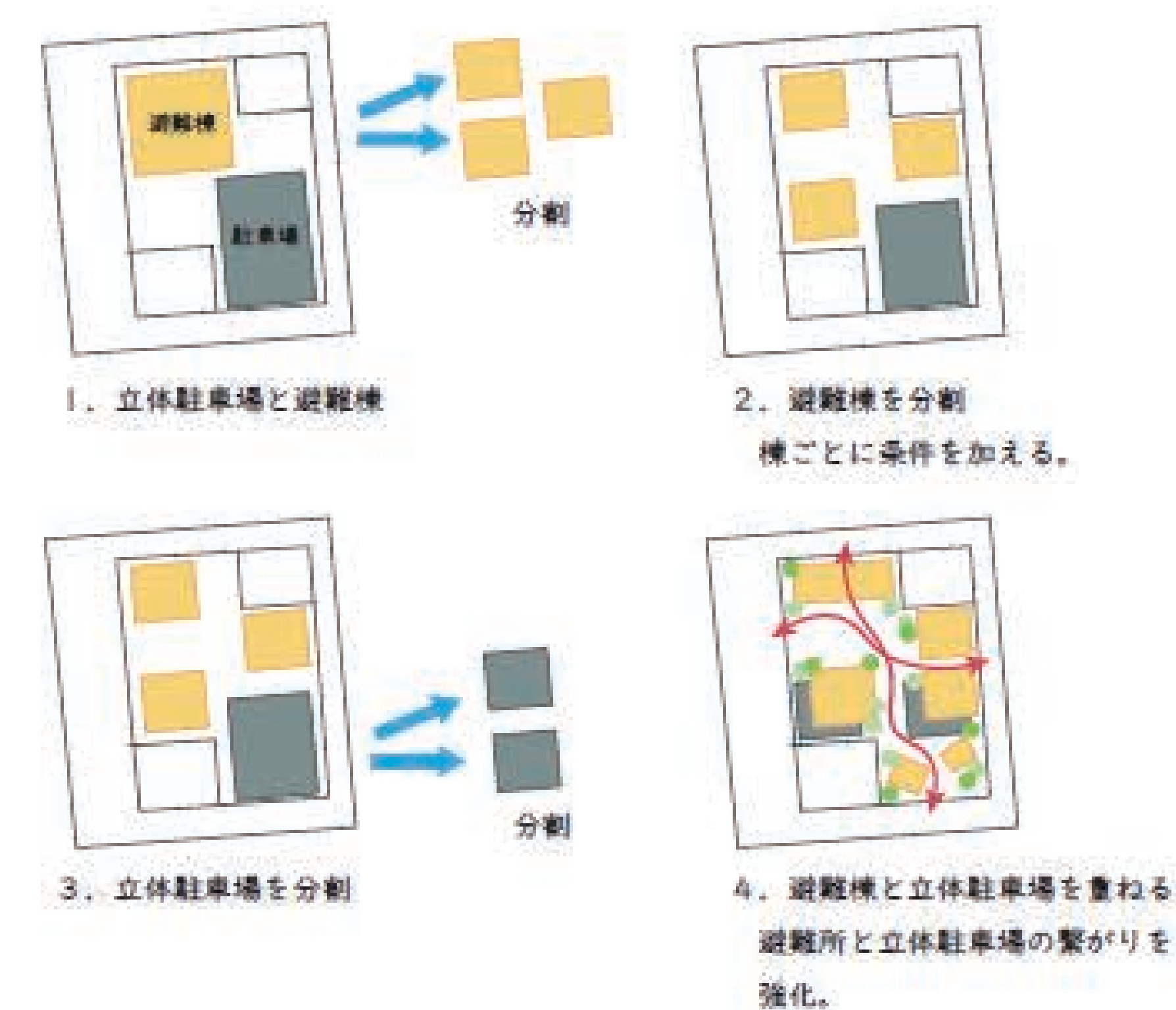


■ 避難所での生活

学校の体育館や集会場などの避難所では、整備・生活空間が整っていないというハード面や、プライバシーの確保や感染症対策等のソフト面の課題も大きい。2024年能登半島地震では、避難所で死亡するなどの災害関連死も発生している。

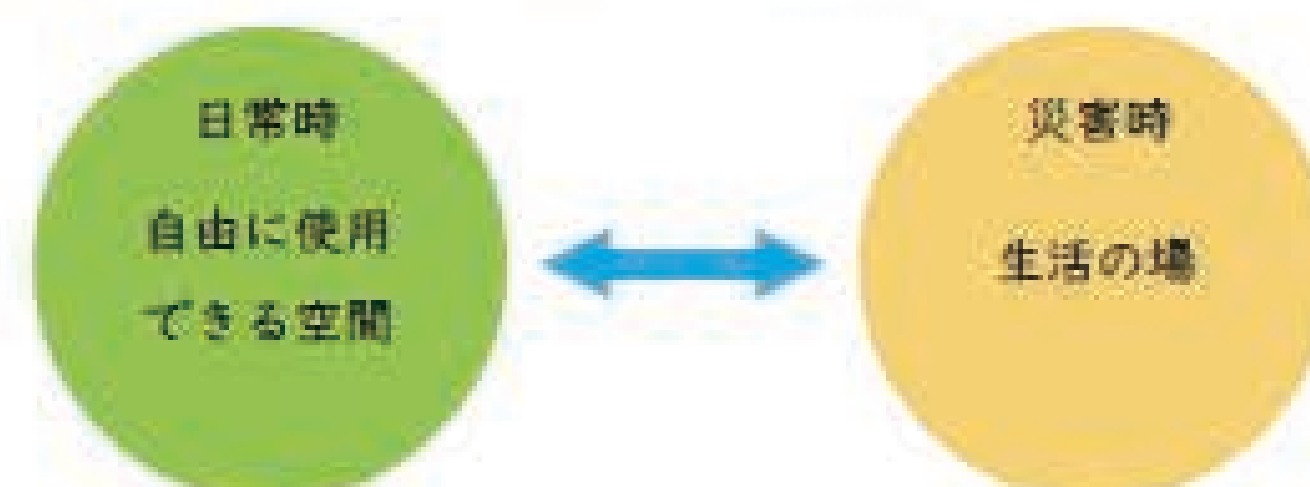
設備・整備・空間	衛生面
- 生活空間が狭い - お手洗いに行く人の足音で目が覚める - いびきが不快	- 手洗いや歯磨きが十分にできない - お手洗いの掃除や換気が不十分
プライバシー・安全面	要配慮者への対応
- 着替えや洗濯物を干す場所が無い - 貴重品の管理に困る	- 車椅子を使用する - 常に介助や介護が必要 - 持病や障がいがある - ペットを飼っている

4. ダイアグラム



2. コンセプト

■ 立体駐車場とワークスペースを活用したフェーズフリー空間



日常時は、仕事や勉強のための場所として誰もが使用可能な場所であり、災害時には「生活の場」としてプライベートスペースに転換する。日常時と非常時の区別をなくす「フェーズフリー空間」となる。

5. 設計提案

■ 名古屋の魅力を取り入れる

1. 車文化

東海地域は、自動車産業において中心的な役割を果たしており、住民は小さな頃から車が身近な存在で街中の移動にも利用する人は多い。



■ 環境への配慮

1. 植物に囲まれた空間

日常時の都市環境向上にも貢献する。



2. 空がよく見える都市

3大都市である東京や大阪と比較し、名古屋は大きなビルが密接するエリアが少なく、街中でも空がよく見えるという魅力がある。



名古屋（栄）



東京（渋谷）

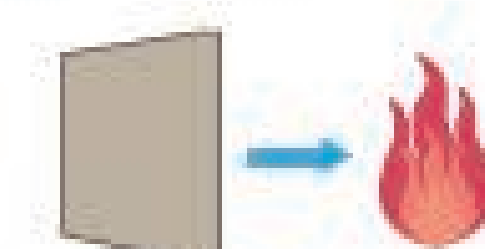
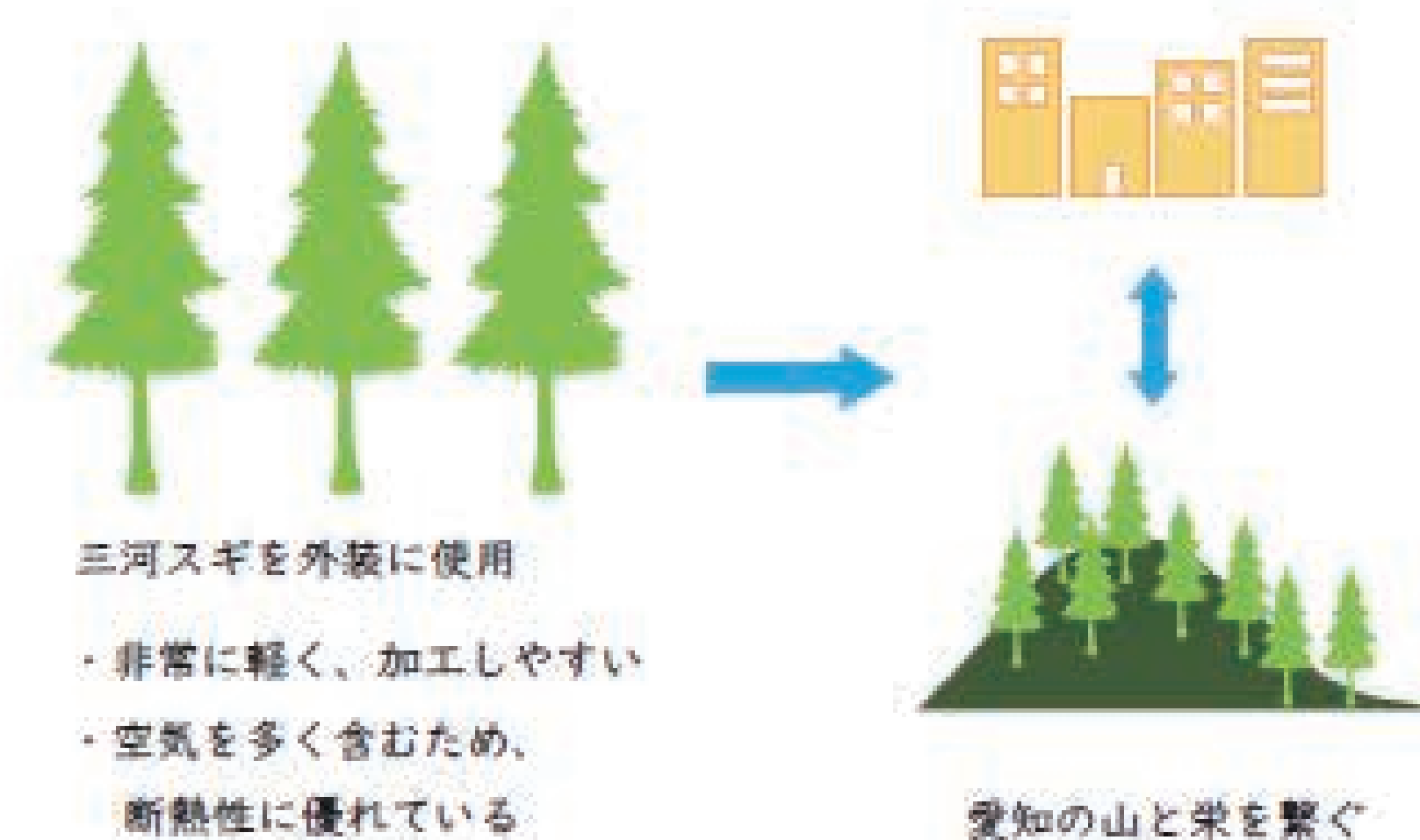


2. 太陽光パネルの設置

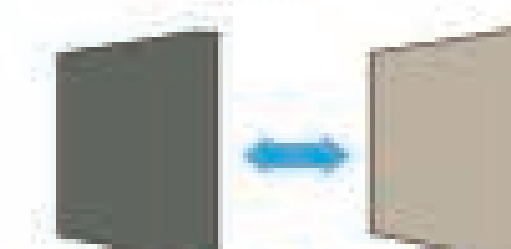
災害時の停電にも対応。



3. 木質外装



1. 外壁をパネル化して、「引っ掛け構造」とすることで災害時には燃料として使用可能。



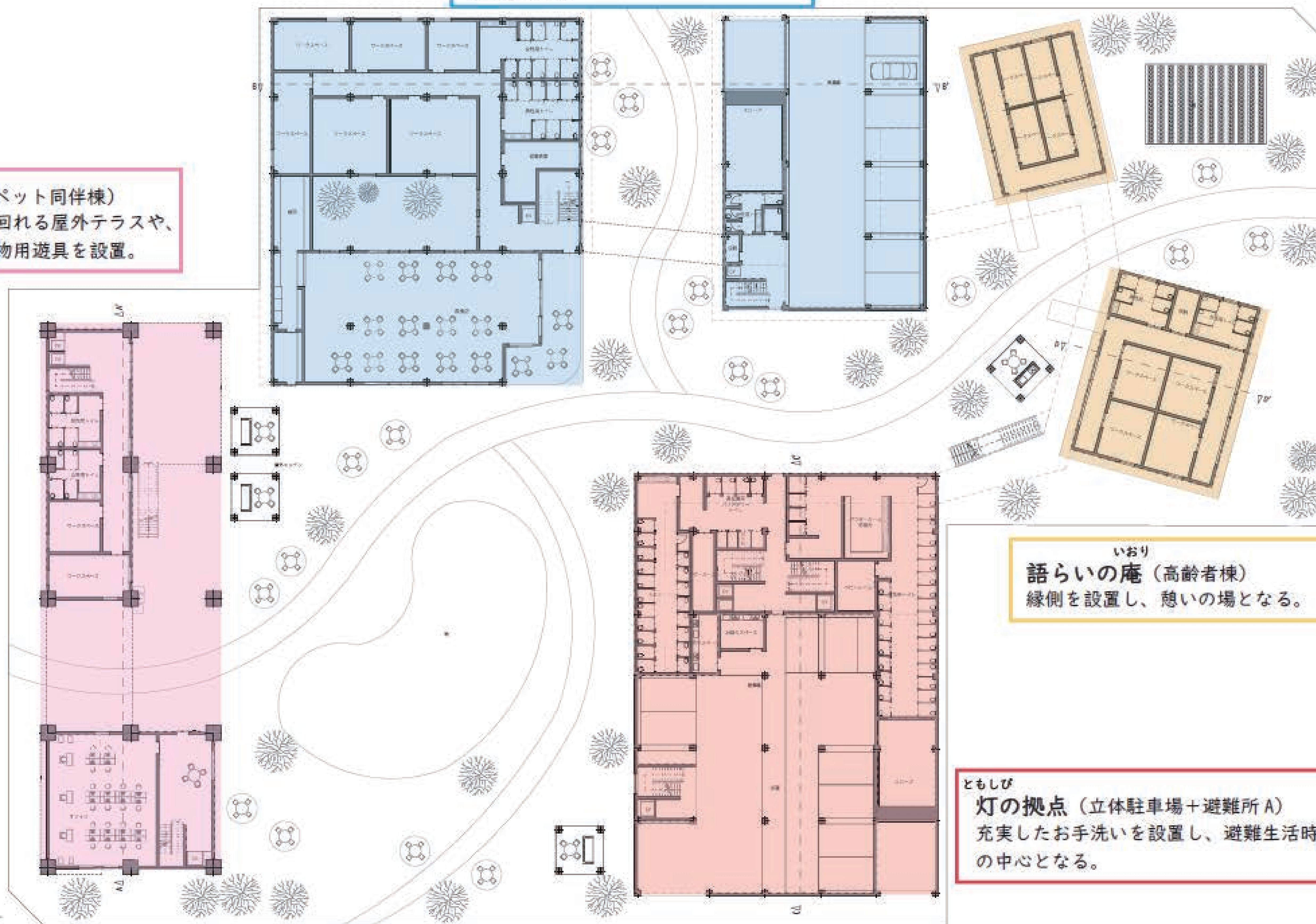
2. 10年に1度取り外して交換し、交換した木はBBQ等に使用してコミュニティを誘発させる。

■ 災害時の対策と通常時の使用

災害時に起こること	通常時の使用	解決策
帰宅困難者	立体駐車場 ワークスペース	避難所
水道の停止	ビオトープ	排水
電気・ガスの停止	屋外キッチン	火の使用、配膳

めぐりの門（立体駐車場＋避難所 B）
災害時は誰もが使用できる避難所と
立体駐車場。

家族の杜（ペット同伴棟）
ペットが走り回れる屋外テラスや、
壁や柱には動物用遊具を設置。

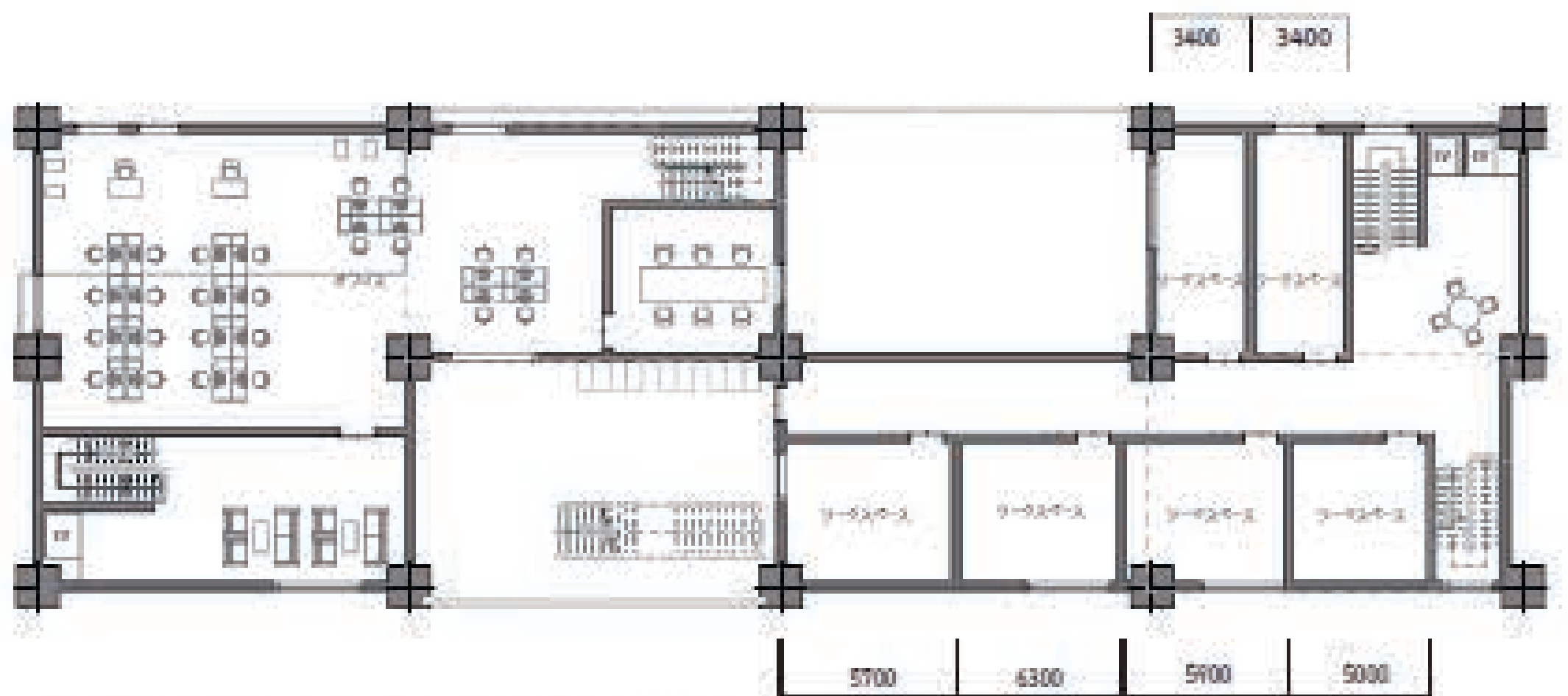


いおり
語らいの庵（高齢者棟）
縁側を設置し、憩いの場となる。

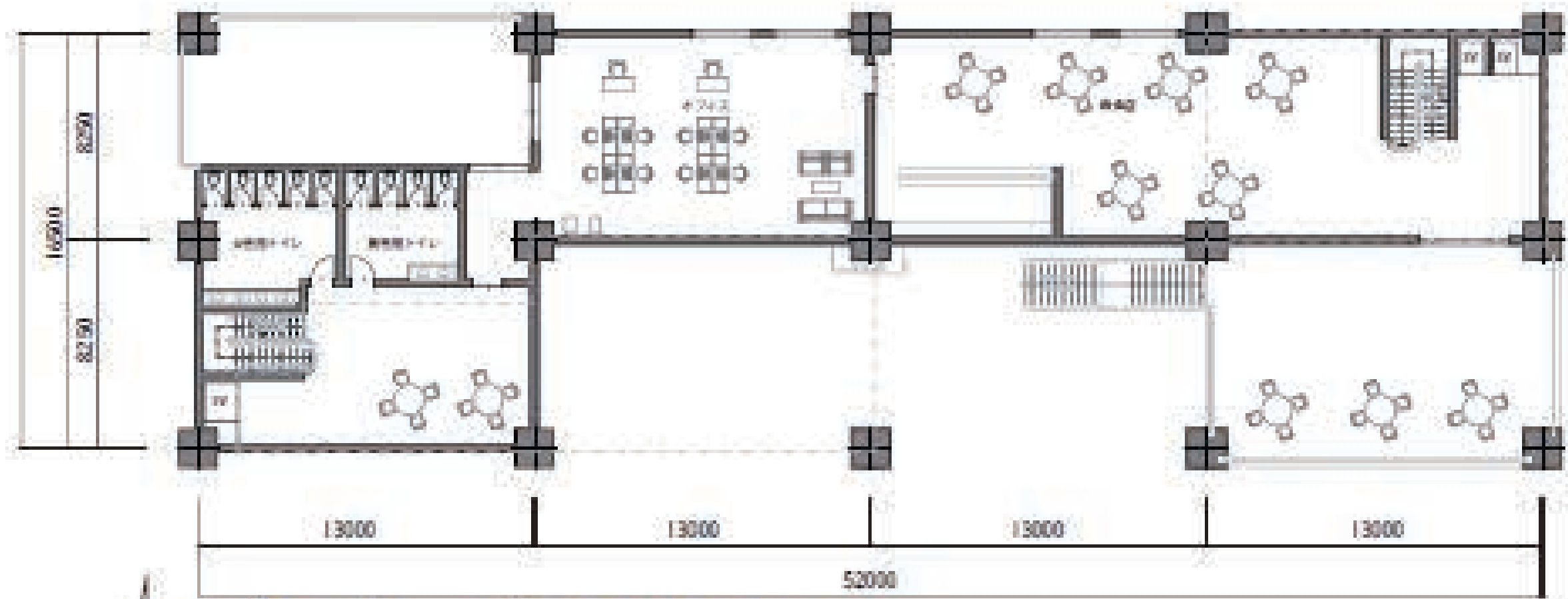
ともしび
灯の拠点（立体駐車場＋避難所 A）
充実したお手洗いを設置し、避難生活時の
中心となる。



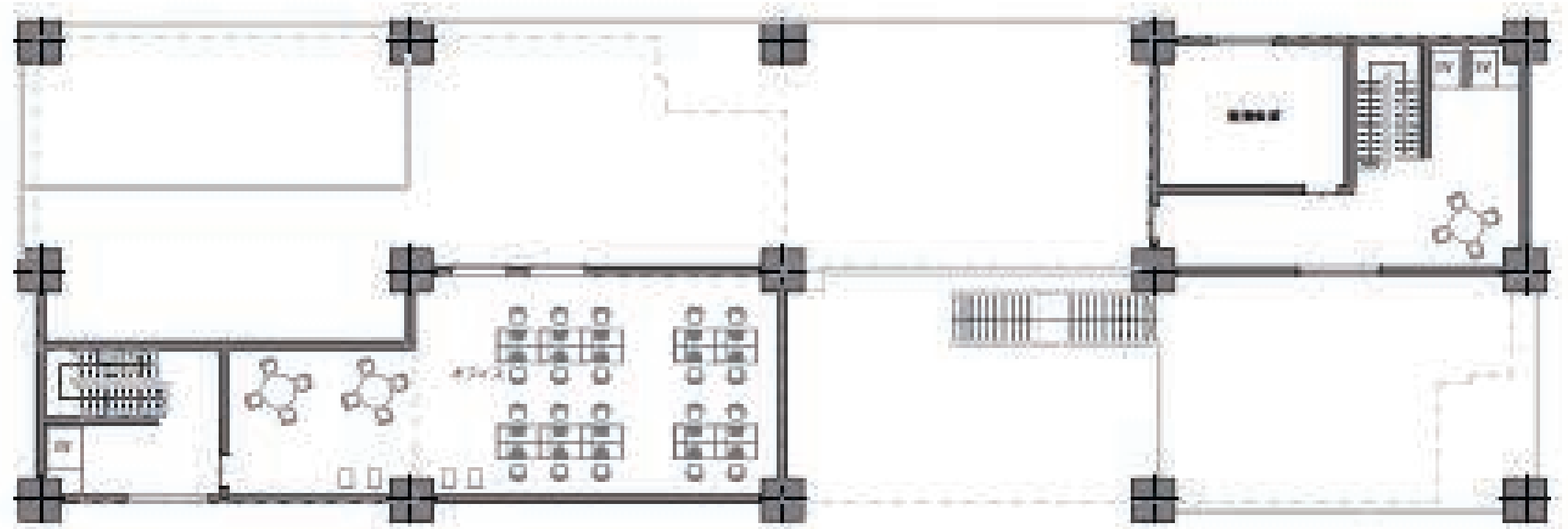
家族の杜 5階平面図 1:200



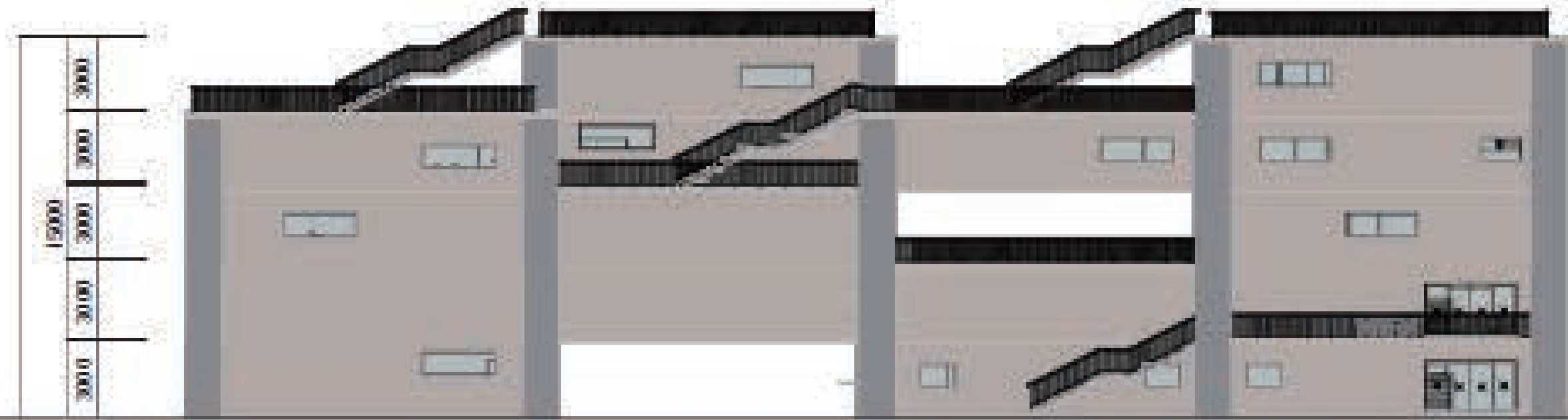
家族の杜 4階平面図 1:200



家族の杜 2階平面図 1:200



家族の杜 3階平面図 1:200



家族の杜 南立面図 1:200



家族の杜 A-A' 断面図 1:200



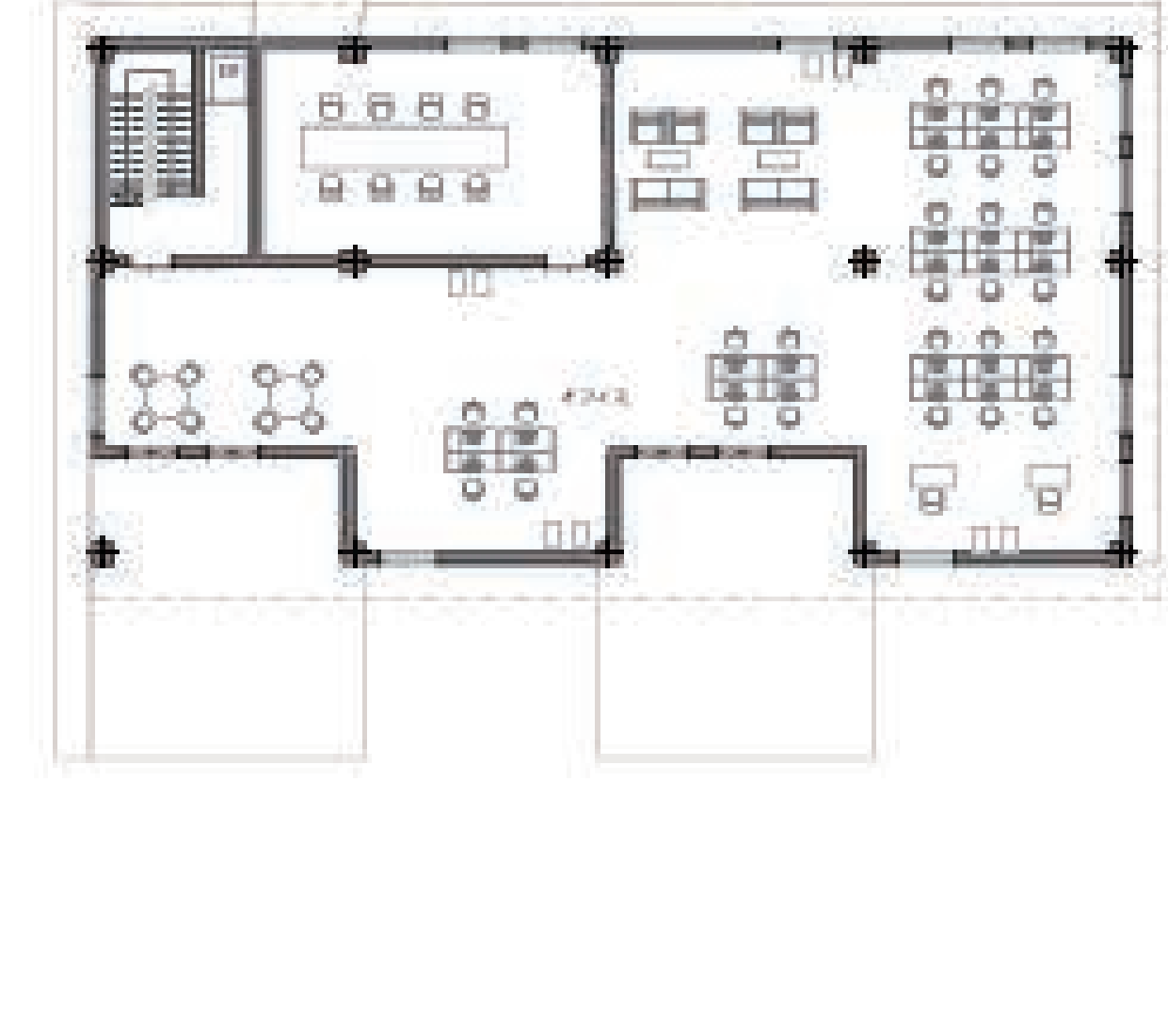
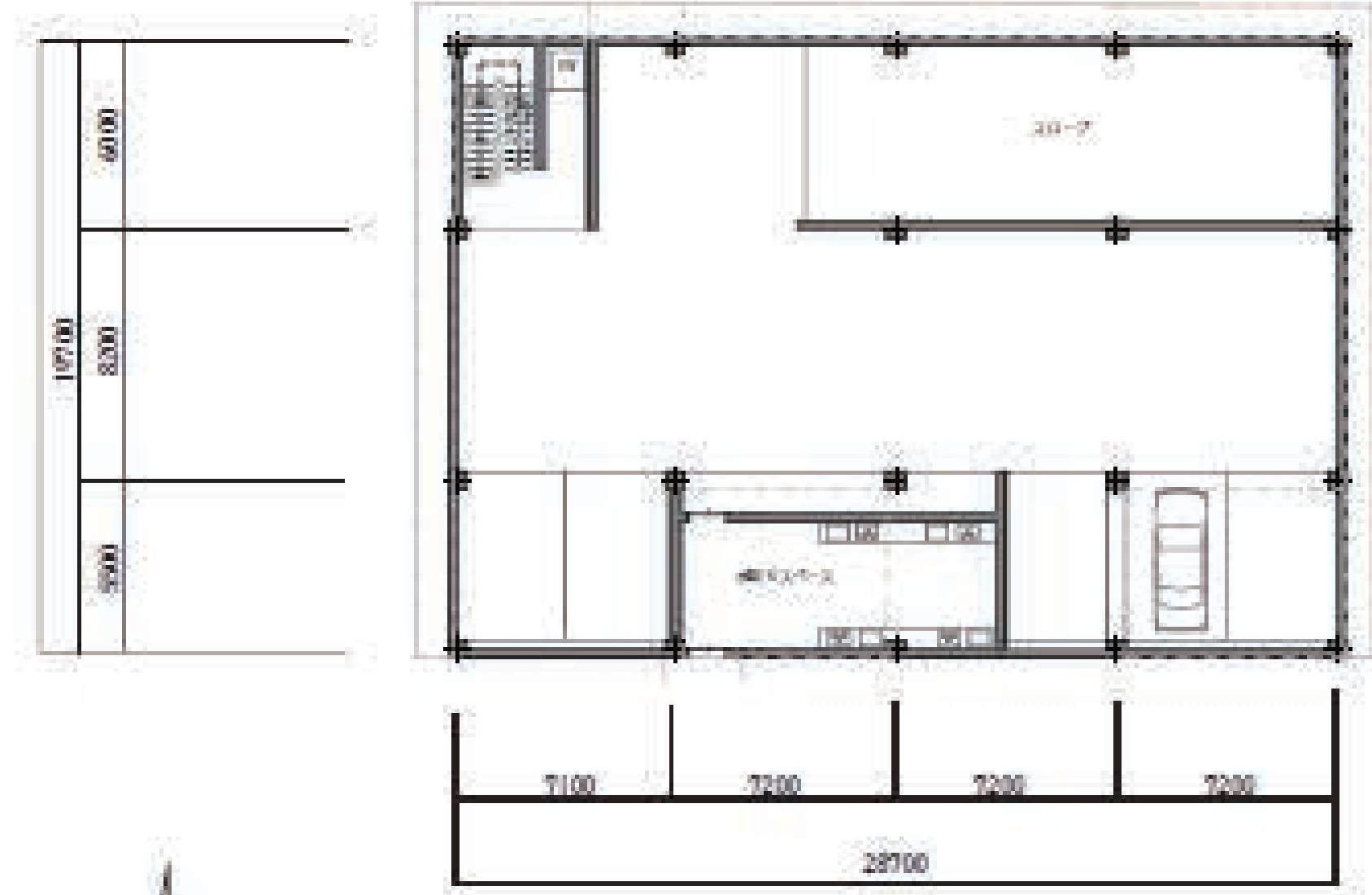
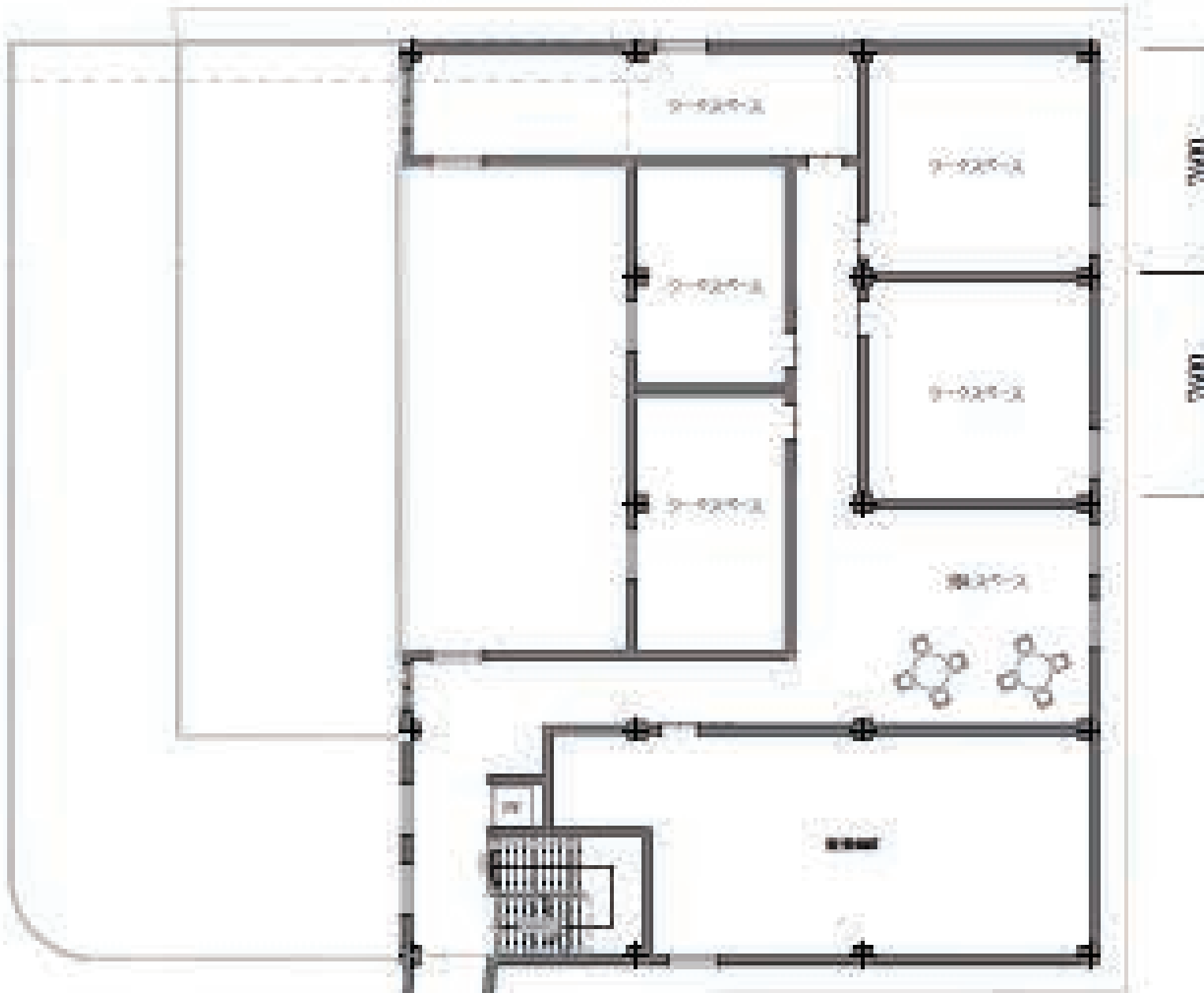
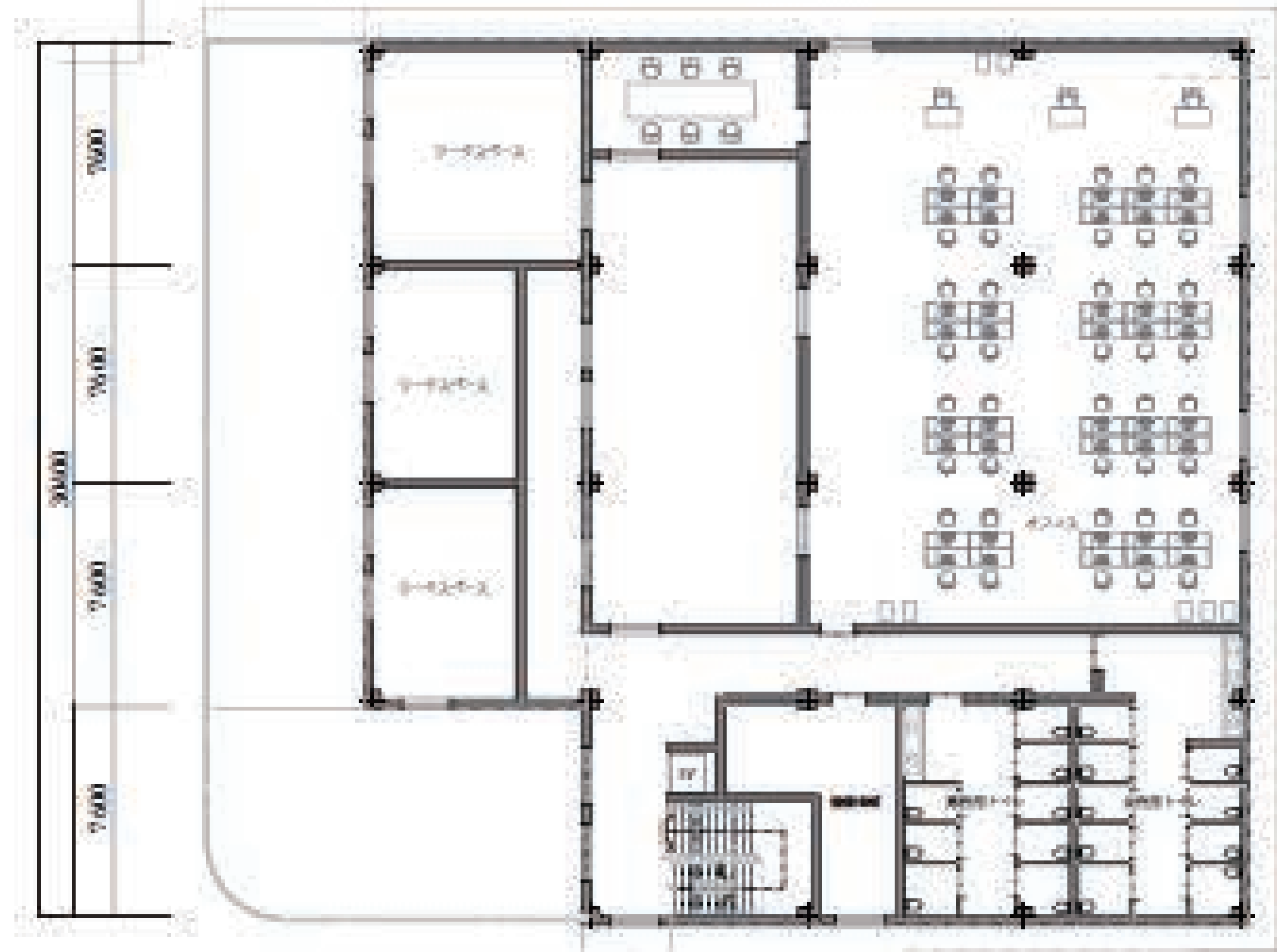
めぐりの門 - 立体駐車場と避難棟 B-



めぐりの門 西立面図 1:200



めぐりの門 B-B' 断面図 1:200



屋外キッチン



日常時：誰もが自由に使用可能



調理中の香りや立ち姿などから、新たなコミュニティが生まれていく。



災害時：配膳場所

めぐりの門 2階平面図 1:200

めぐりの門 3階平面図 1:200

めぐりの門 4階平面図 1:200



灯の拠点 - 立体駐車場と避難棟 A -



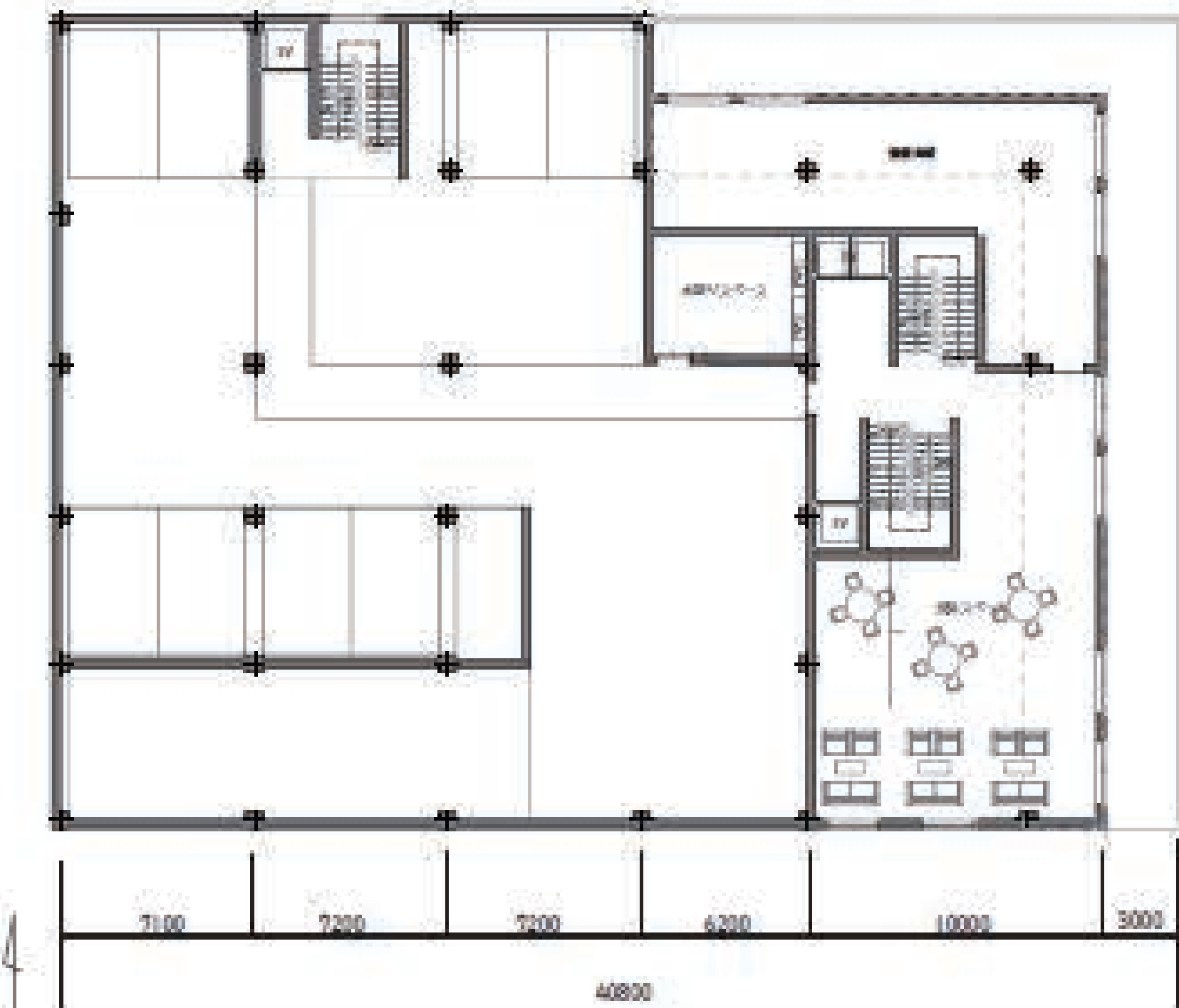
日常時：リモートワークや会議など



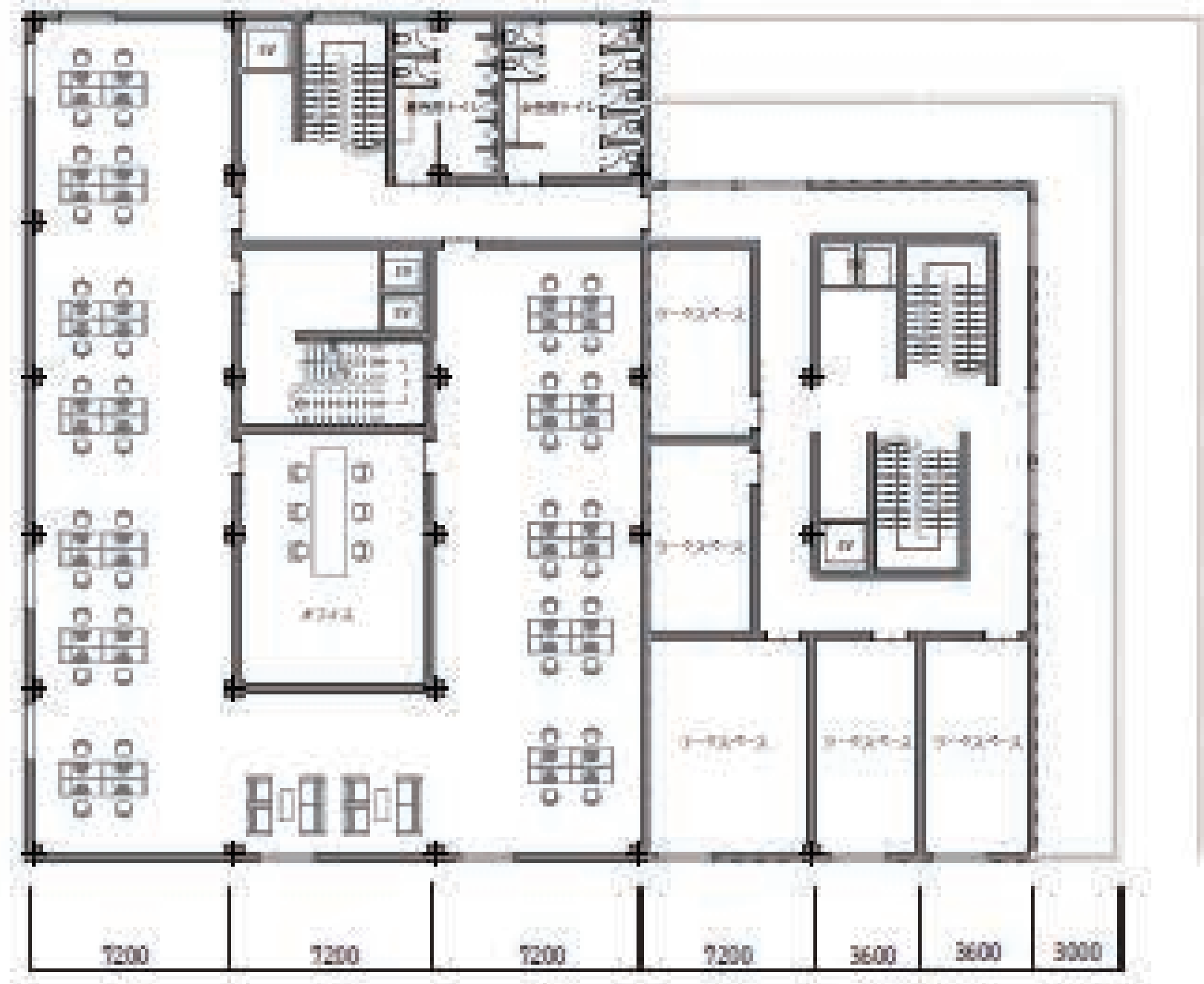
災害時：プライベートスペース



灯の拠点 4階平面図 1:200



灯の拠点 2階平面図 1:200



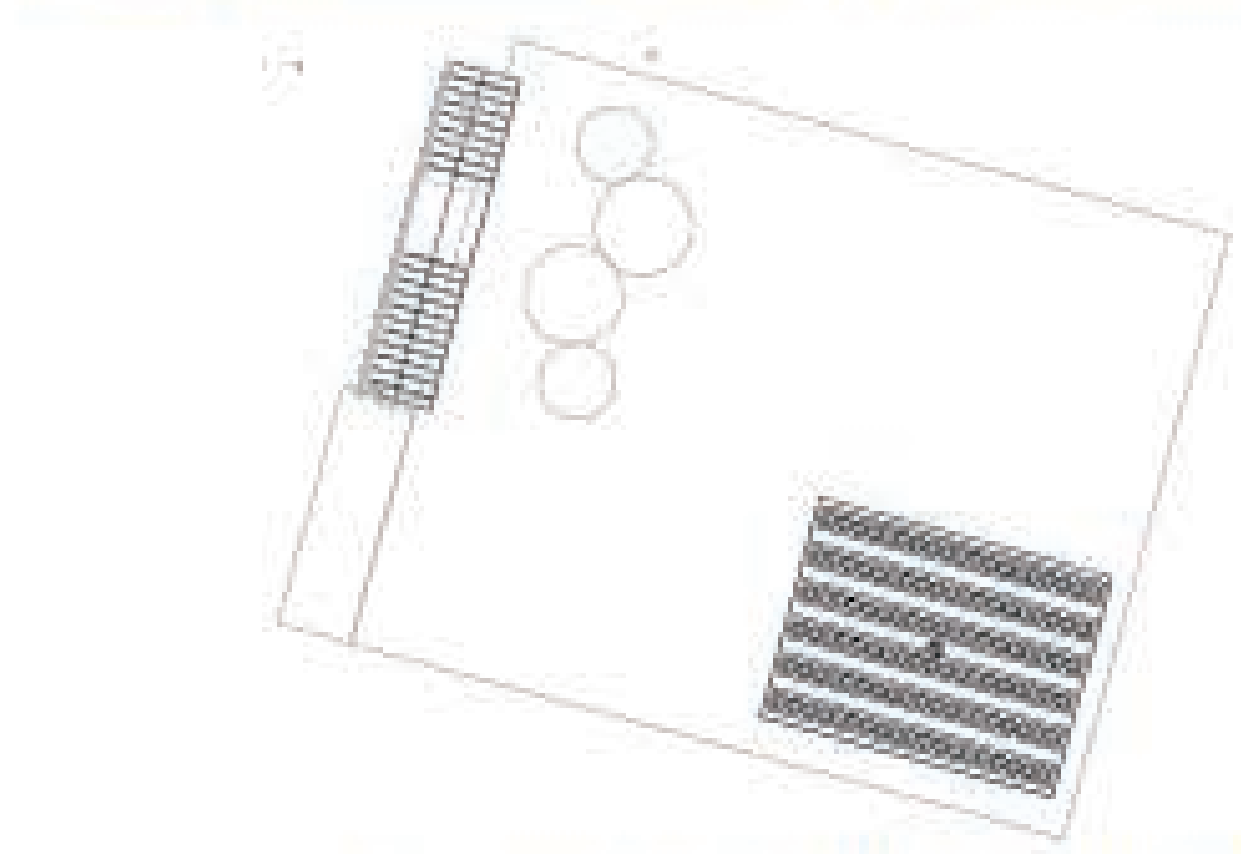
灯の拠点 3階平面図 1:200



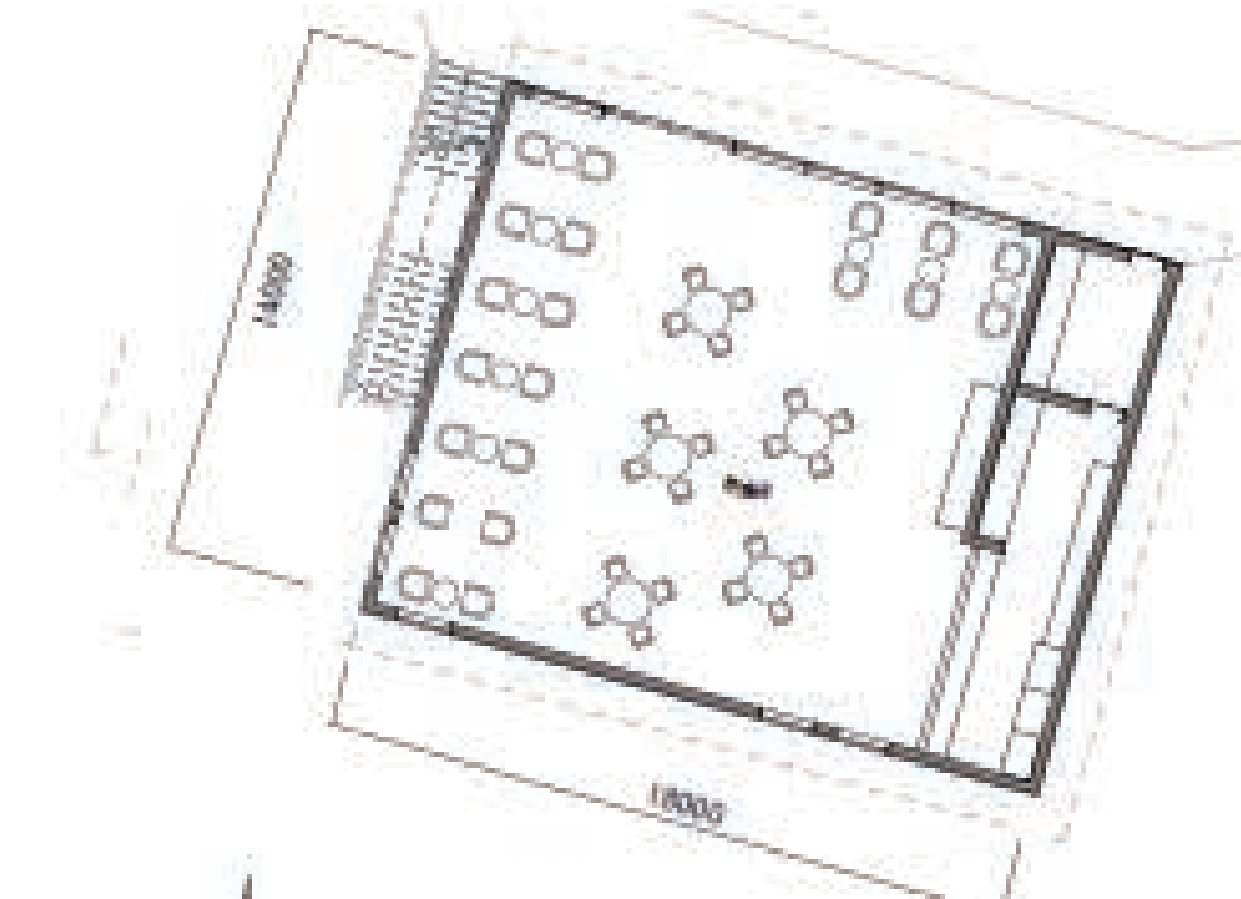
灯の拠点 北立面図 1:200



灯の拠点 C-C' 断面図 1:200



語らいの庵 3階平面図 1:200



語らいの庵 2階平面図 1:200



語らいの庵 北立面図 1:200



日常時：リモートワークや会議など



災害時：プライベートスペース



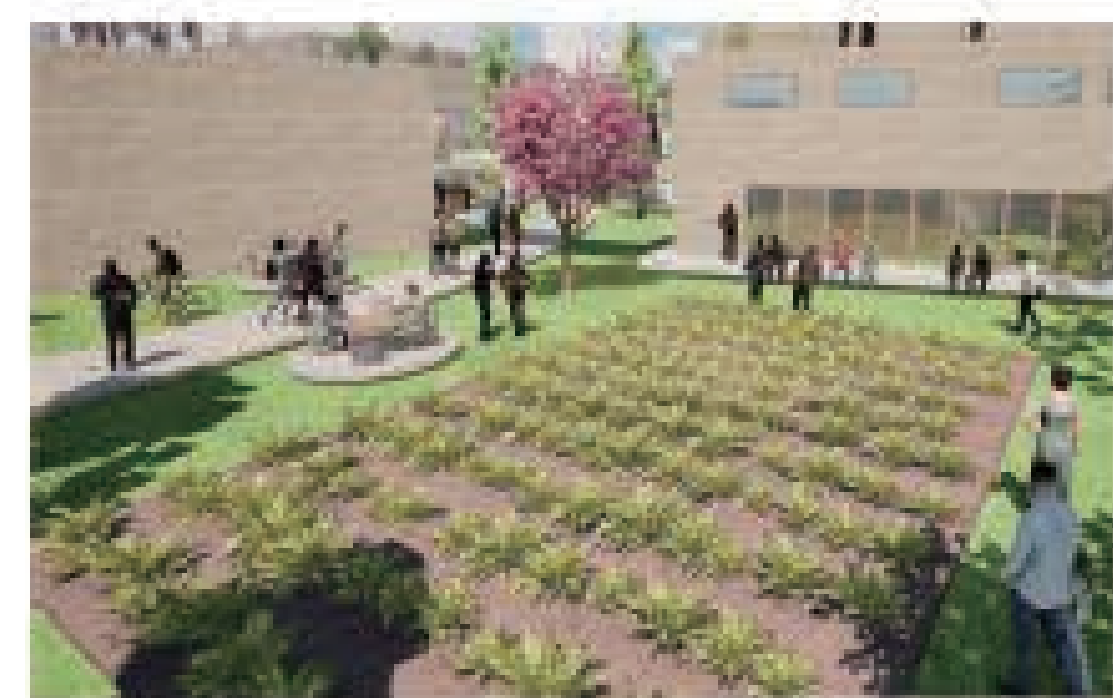
語らいの庵 D-D' 断面図 1:200

語らいの庵が与える役割



・畑

普段は敷地内オフィスの社員が、災害時には避難中の高齢者にも協力してもらい、コミュニティの誘発と活力をもたらす。



・縁側

日常時も災害時も座って語り合える場となる。そこから見える風景からは街を見守る社会的役割も与える。